

令和5年度 市原市立明神小学校 学校経営グランドデザイン

〔千葉県教育振興基本計画〕
を踏まえた重点事項

- ①人生を主体的に切り開くための学びの確立
- ②道徳性を高める心の教育の推進
- ③生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進
- ④共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進
- ⑤人間形成の場としての活力ある学校づくり
- ⑥教育現場の重視と教員の質・教育力の向上
- ⑦多様なニーズに対応した教育の推進
- ⑧家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進
- ⑨人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
- ⑩郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成

《学校教育目標》

やさしさ 挑戦 元気

〔市原市教育大綱（基本理念）〕
「未来へつなぐ いちはらの教育」
〔市原市学校教育振興計画〕

- ◆基本理念
「未来を切り開く
資質・能力を育む教育」
- ◆めざす子どもの姿
「自分の力を信じ、
未来へ飛躍する子ども」
- 【知】：確かな学力
- 【徳】：感性豊かな心
- 【体】：健やかな体
- 〔市原市学校教育推進プラン〕
～魅力ある学校づくり～
- ・確かな学びの推進
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・いじめを許さない体制づくり
- ・新学習指導要領の全面実施に対応した取組
- ・市原GIGAスクールの推進

〈めざす子ども像〉

- ◆相手を思いやる子＝やさしさ
- ◆夢を持ち自ら学ぶ子＝挑戦
- ◆明るく元気な子＝元気

〈めざす教師像〉

- ◆教職に対する情熱があり、学び続ける教師
- ◆人間性豊かで、子ども・保護者から信頼される教師
- ◆教師を志した初心を忘れない教師

〈めざす学校像〉

- ◆子どもにとってよい学校→子どもが生き生きと活動し、授業がわかる・できる学校
・友達がいる ・授業がわかる ・信頼できる先生がいる（先生が好き）
- ◆保護者にとってよい学校→保護者が安心して子どもを通わせられる学校
・子どもを安心して預けられる ・信頼できる先生がいる ・保護者同士が仲間である
- ◆教職員にとってよい学校→教職員がやりがいを持てる学校
・子どもとの活動が、日々充実している ・信頼できる職場の仲間がいる
・保護者、地域と連携できている
- ◆地域にとってよい学校→地域の活性化に貢献してくれる学校
・地域の人材、教育資源の活用 ・子どもたちの安全確保 ・地域行事への協力

重点目標「4つの柱」

学力向上「のびのび学習」

- ★自ら学び、思考し表現する力の育成：①「主体的・対話的で深い学び」への授業改善 ②わかる・できる授業の実践 ③「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムの活用 ④言語活動を充実させる場（協働的な学びの場）の設定 ⑤視覚を重視した授業（1授業1アイテム） ⑥ICT（電子黒板、タブレット端末）の活用の推進
- ★個に応じた指導の充実：①指導法の改善（個別、グループ、習熟度別等） ②TT、少人数指導の実施 ③タブレット端末の活用（学習の個別最適化の推進） ④家庭学習の習慣化（自学、AIドリルの奨励、家庭との連携） ⑤日本語の取得が困難な児童への支援
- ★基礎・基本の充実：①授業規律の確立 ②読み、書き、計算の徹底 ③ノートの使い方の徹底 ④校内研究テーマの追求（主体的・対話的に学ぶ力の育成）
- ★読書の推進：①学校図書館利用の推進（学校司書と連携） ②読書の習慣化の推進 ③教師による啓発活動（読み聞かせ）
- ★学習指導要領への対応の推進：①外国語活動の充実（ALT、外部人材の活用） ②プログラミング学習の推進 ③キャリア教育の推進（キャリアパスポートの活用）

生き生きとした学校づくり「わくわく登」

- ★「やさしさ・挑戦・元気」実現の柱となる活動の充実：①子どもが主役となる学校・学年・学級行事の運営 ②体験学習の充実 ③児童会活動の充実 ④「なかよし遊び」の実施
- ★学級経営の充実：①子どもの力を生かす学級経営の推進 ②学級のルール徹底 ③特別活動の充実（話し合い活動を通して） ④学級独自の活動の推進
- ★道徳教育の推進：①授業を要とした推進（「考え、議論する道徳」への授業改善） ②道徳教育映像教材の活用 ③すべての教育活動を通しての組織的な推進（道徳教育推進教育を中心として） ④いじめ0（ゼロ）宣言、3つの心（正義の心・素直な心・やさしい心）の推進
- ★特別支援教育の充実：①児童の実態（教育的ニーズ）把握の推進（全児童を対象とした「子ども理解チェックシート」の作成） ②組織的な就学支援の推進（特別支援教育コーディネーターを中心として） ③保護者との連携（合理的配慮の提供、個別の支援計画・教育支援計画の作成） ④専門家、関係機関との連携 ⑤ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり ⑥交流及び共同学習の充実（インクルーシブ教育システムの推進）

健康な体づくりと体力の向上「楽しく運動」

- ★健康づくりの推進：①基本的な生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ご飯、歯磨き、ノーゲームデー） ②発達段階に応じた保健教育の推進 ③組織的な保健指導の推進（養護教諭を中心として） ④身体検査・健康診断の結果の活用 ⑤「5つの予防と約束」の徹底
- ★体力づくりの推進：①正課時の体育の充実（基礎体力づくり、運動に親しむ資質・能力の育成） ②運動の日常化の奨励（外遊び、サーキットトレーニング、家庭でのストレッチ） ③部活動の効果的な運営 ④マラソン大会に向けた練習の充実
- ★食に関する指導の充実：①学校給食を活用した指導の推進（食事についての理解と望ましい習慣の育成、マナーや人間関係形成能力の育成、食物を大切に生産に関わる方へ感謝する心の育成）

安心・安全な学校づくり「にぎやかに下校」

- ★生徒指導の充実：①いじめ解消率100%・不登校0人への取組の推進及び児童虐待への対応（年5回のアンケート調査、未然防止・早期発見の重視） ②児童理解を基盤とした生徒指導の推進 ③教育相談活動の充実（教育相談週間、日常的な相談活動、見守りや観察） ④組織的な生徒指導体制の確立（生徒指導主任を中心としたチームによる対応、共通理解を元にした未然防止・早期発見・早期解決・再発防止の共通実践） ⑤生徒指導機能を生かした「わかる授業」の展開 ⑥SNS上のいじめやトラブルに関する安全教育の推進
- ★安全指導の充実：①安全点検の徹底（校内の施設・設備、通学路） ②危機管理体制の整備（安全計画・危機管理マニュアルの徹底と見直し） ③安全教育の充実（学級活動での指導、道徳との関連強化、安全マップづくり） ④避難訓練の充実（年11回実施による的確な判断・行動ができる能力の育成、避難経路の確保）
- ★「地域とともに歩む学校づくり」の推進：①学校評価を活用した学校運営の改善 ②緊急時の連絡体制・防災組織の確立 ③PTA・地域・ボランティア団体との連携（登下校の交通安全の確保、人材・教育資源の活用） ④地域の各種会議、行事への積極的な参加・協力 ⑤関係機関との積極的な連携

学びを支えるネットワーク

- ☆保幼小、小中一貫教育の推進：幼児児童生徒の交流（体験入学、職場体験学習等）、職員の交流（合同研修、授業参観等）、ミニ集会の合同開催
[つばみの森第二保育園、姉崎中学校、姉崎小学校との連携]
- ☆PTA・地域との連携：学校公開の推進、PTA活動の充実、登下校の安全確保への協力、環境整備への協力、地域行事への参加
- ☆地域人材・教育資源の活用：歴史的教材の活用、地域探検、クラブ活動支援、読み聞かせ、昔遊び体験、少年消防クラブの活動、地元企業からの支援
[明神小PTA、学校支援ボランティア、お話し会、小域福祉ネットワーク、姉崎神社、消防署等の関係機関との連携]